



第21回 日本末梢神経学会学術集会 プログラム・抄録集



The 21st Annual Meeting of the Japanese Peripheral Nerve Society

会期: **2010年9月3日(金)・4日(土)**

会場: フォレスト仙台 会長: 糸山 泰人

東北大学大学院医学系研究科神経内科学分野
国立精神・神経医療研究センター病院

事務局: 東北大学大学院医学系研究科 神経・感覚器病態学講座 神経内科学分野

〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1 TEL: 022-717-7189 FAX: 022-717-7192

第21回日本末梢神経学会学術集会開催にあたって

学術集会会長 糸山 泰人

東北大学大学院医学系研究科 客員教授

独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター病院長

この度、第21回日本末梢神経学会学術集会を2010年9月3日(金)・4日(土)に仙台市(フォレスト仙台)において開催することになりました。

本学会は1990年に末梢神経障害の原因や病態を解明し、その治療や予防の研究を目的として日本末梢神経研究会が発足し、2000年には学会となりました。言うまでもなく、末梢神経は中枢神経の脳や脊髄と各臓器ならびに筋肉、皮膚をはじめとした組織とを結び、運動・感覚および自律神経の機能を有効に発揮する重要なものであります。この末梢神経を障害する疾患の中には、まだその病因・病態が不明であり、治療法の開発が切望されている疾患も多く存在しています。本学会は神経内科・整形外科・リハビリテーション科・内科・形成外科・産業医学の医師や基礎医学者および他の医療関係者が集まり、これらの病態解明研究および治療法の開発を行い、社会の医療と福祉に貢献することを目的としております。

今回の集会では、特別講演として慶應義塾大学の岡野 栄之 先生に末梢神経疾患の治療の将来を見据えつつ、再生医療の進歩を大局的にご講演していただき、シンポジウムでは末梢神経の再生治療の実際を柿木 良介 先生には骨髓幹細胞移植した血管茎含有チューブでの治療実験を、また緒方 徹 先生にはシュワン細胞に標的を合わせた再生医療を、そして中村 達雄 先生には人工神経の臨床応用をご講演していただくことになっています。また、日常の臨床における困難症例や問題病態の末梢神経疾患をとりあげて、神経内科、整形外科、リハビリテーション科などの各専門科の先生方で診断や治療を検討するシンポジウムを宮坂 芳典 先生、越智 健介 先生、桑原 聡 先生にお願いしています。それに加えて産業医学講座では足の疾患と治療に焦点を合わせて館 正弘 先生と河野 茂夫 先生にフットケア診療の最前線を話していただきたいと考えています。

仙台は近くに松島そして蔵王や栗駒山があり風光明媚なところで、また山海の珍味や温泉なども楽しめます。9月は山々の紅葉が始まり、大変美しく過ごしやすい季節でもあります。ぜひとも多くの皆様にご来仙いただきたいと心から願っております。

日 程 表

9月3日 (金)

第1会場 (フォレストホール)		第2会場 (第5・6会議室)	
9:00	9:25～ 開会の辞 9:30～10:02 一般演題 1 手根管症候群 座長:長谷川 修 P.41	9:30～10:02 一般演題 6 GBS と CIDP 座長:野村 恭一 P.54	
10:00	10:02～10:42 一般演題 2 上肢末梢神経障害・腫瘍 座長:稲田 有史 P.43	10:02～10:34 一般演題 7 CIDP 座長:吉良 潤一 P.56	
11:00	10:42～11:14 一般演題 3 手術手技 座長:牧 裕 P.46	10:34～11:22 一般演題 8 CIDP 病態と治療 座長:池田 修一 P.58	
12:00	11:30～12:00 評議員会		
	12:10～13:10 ランチョンセミナー 1 臨床で役に立つ末梢神経の病理 演者:神田 隆 P.25 座長:馬場 正之 (日本製薬株式会社)		
13:00	13:20～14:08 一般演題 4 血管炎・免疫介在性ニューロパチー 座長:堅山 真規 P.48	13:20～14:00 一般演題 9 肘部管症候群 座長:堀内 行雄 P.61	
14:00	14:08～14:56 一般演題 5 免疫介在性ニューロパチー 座長:楠 進 P.51	14:00～14:48 一般演題 10 電気生理・治療法 座長:大西 晃生 P.64	
15:00	15:00～16:30 シンポジウム 1 診断・治療に難渋する症例 演者:宮坂 芳典、越智 健介 P.26 桑原 聡 座長:井上 聖啓、加藤 博之		
16:00	16:35～17:25 産業医学講座 診療最前線 フットケア外来 演者:館 正弘、河野 茂夫 P.29 座長:八木橋操六、中川 正法		
17:00	17:30～18:30 イブニングセミナー 虚血性ニューロパチーに対するIVIg療法 演者:服部 直樹 P.31 座長:金谷 文則 (帝人ファーマ株式会社/財団法人化学及血清療法研究所)		
18:00			
19:00～	会員懇親会 仙台 勝山館 4階「彩雲」 ※会員懇親会会場へはバスをご用意しております		

日 程 表

9月4日 (土)

第1会場 (フォレストホール)		第2会場 (第5・6会議室)	
9:00			
	9:20~10:20 モーニングセミナー P.32 末梢神経障害におけるリハビリテーション 演者：出江 紳一 座長：平田 仁 (エーザイ株式会社)		
10:00			
	10:30~12:00 シンポジウム2 P.33 末梢神経の再生 演者：柿木 良介、緒方 徹 中村 達雄 座長：祖父江 元、越智 光夫		
11:00			
12:00	12:00~12:30 総 会		
	12:40~13:40 ランチョンセミナー2 P.36 神経障害性疼痛の分子メカニズム 演者：野口 光一 座長：葛原 茂樹 (ファイザー株式会社／エーザイ株式会社)		
13:00			
	13:50~14:50 特別講演 P.37 中枢神経系と末梢神経系の再生研究 演者：岡野 栄之 座長：糸山 泰人		
14:00			
	15:00~15:56 一般演題11 P.67 再生 座長：額田 均	15:00~15:56 一般演題13 P.74 筋・アミロイド・悪性腫瘍 座長：松井 真	
15:00			
	15:56~16:44 一般演題12 P.71 病態モデルの解析 座長：安田 斎	15:56~16:52 一般演題14 P.78 遺伝性疾患 座長：高嶋 博	
16:00			
		閉会の辞	
17:00			
18:00			



2010年9月3日(金)

◆ランチョンセミナー 1

12:10 ~ 13:10 第1会場

「臨床で役に立つ末梢神経の病理」

座長：馬場 正之（青森県立中央病院 神経内科）

演者：神田 隆（山口大学大学院医学系研究科神経内科学）

（日本製薬株式会社）

◆シンポジウム 1

「診断・治療に難渋する症例」

15:00 ~ 16:30 第1会場

座長：井上 聖啓（札幌山の上病院脊椎脊髓センター）

加藤 博之（信州大学整形外科）

1. 「糖尿病を有する entrapment neuropathy の診断・治療」

演者：宮坂 芳典（仙塩総合病院整形外科）

2. 「末梢神経障害にみられるくびれの意義とその治療法」

演者：越智 健介（川崎市立川崎病院整形外科）

3. 「上肢の筋萎縮性疾患へのアプローチ：解離性小手指筋萎縮に注目して」

演者：桑原 聡（千葉大学大学院医学研究院神経内科学）

◆産業医学講座

「診療最前線 フットケア外来」

16:35 ~ 17:25 第1会場

座長：八木橋操六（弘前大学大学院医学研究科分子病態病理学）

中川 正法（京都府立医科大学大学院医学研究科神経内科学）

「東北大学病院フットセンターにおける横断的治療」

演者：館 正弘（東北大学医学系研究科形成外科）

「糖尿病足病変の病態と対策」

演者：河野 茂夫（国立病院機構京都医療センター WHO 糖尿病協力センター）

◆イブニングセミナー

17:30 ~ 18:30 第1会場

「虚血性ニューロパチーに対するIVIg療法」

座長：金谷 文則（琉球大学高次機能医科学講座 整形外科）

演者：服部 直樹（豊田厚生病院神経内科）

（帝人ファーマ株式会社／財団法人化学及血清療法研究所）

2010年9月4日(土)

◆モーニングセミナー

9:20～10:20 第1会場

「末梢神経障害におけるリハビリテーション」

座長：平田 仁（名古屋大学大学院 手の外科学）

演者：出江 紳一（東北大学大学院医工学研究科リハビリテーション医工学分野）
（エーザイ株式会社）

◆シンポジウム2

「末梢神経の再生」

10:30～12:00 第1会場

座長：祖父江 元（名古屋大学大学院医学系研究科神経内科）

越智 光夫（広島大学大学院整形外科学）

1. 「骨髄幹細胞（BMC）移植した血管茎含有チューブでの犬尺骨神経 30mm の架橋実験
ー自家神経移植との比較」

演者：柿木 良介（京都大学医学部整形外科・リハビリテーション部）

2. 「シュワン細胞を標的とした末梢神経再生促進」

演者：緒方 徹（国立障害者リハビリテーションセンター研究所
運動機能系障害研究部）

3. 「人工神経の基礎と臨床応用」

演者：中村 達雄（京都大学再生医科学研究所
再生医学応用研究部門臓器再建応用分野）

◆ランチョンセミナー2

12:40～13:40 第1会場

「神経障害性疼痛の分子メカニズム」

座長：葛原 茂樹（鈴鹿医療科学大学（三重大学名誉教授））

演者：野口 光一（兵庫医科大学解剖学神経科学部門）
（ファイザー株式会社／エーザイ株式会社）

◆特別講演

13:50～14:50 第1会場

「中枢神経系と末梢神経系の再生研究」

座長：糸山 泰人（国立精神・神経医療研究センター病院）

演者：岡野 栄之（慶應義塾大学医学部生理学教室）

一般演題プログラム

2010年9月3日(金)

◆一般演題1 手根管症候群

9:30~10:02 第1会場

座長：長谷川 修（横浜市立大学附属市民総合医療センター総合診療科）

01. 長期透析患者における再発手根管症候群手術時の電気生理学的検査結果

吉田 綾（取手北相馬保健医療センター医師会病院 整形外科）

02. 手根管症候群に対するスプリント装着効果 —装着前後での神経伝導検査所見—

大沼 歩（広南病院 神経内科）

03. 手根管症候群の治療前後における上肢機能評価および痛みの経時的変化について

岩月 克之（名古屋大学 手の外科）

04. テレビ放映後に受診したしびれ患者の概要と特徴

長谷川 修（横浜市立大学附属市民総合医療センター 総合診療科）

◆一般演題2 上肢末梢神経障害・腫瘍

10:02~10:42 第1会場

座長：稲田 有史（稲田病院）

05. 上腕遠位部で生じた神経束の炎症による正中神経麻痺の一例

大場 悠己（信州大学 整形外科）

06. 当科における特発性前骨間神経麻痺の手術療法

中林 昭裕（広島大学大学院整形外科）

07. 胃癌切除により完全回復した非外傷性後骨間神経麻痺の1例

越智 健介（川崎市立川崎病院 整形外科）

08. 指神経に発生した lipofibromatous hamartoma の2例

建部 将広（名古屋大学 手の外科）

09. 上肢に発生した神経鞘腫

水島 秀幸（大雄会病院）

◆一般演題3 手術手技

10:42~11:14 第1会場

座長：牧 裕（財新湯手の外科研究所）

10. 橈骨骨折後 CRPS type I と診断された Pain control 不良例 10 例に対する生体内再生治療の結果

稲田 有史（稲田病院 整形外科）

11. Ganglion による末梢神経障害 13 例の手術症例報告

工藤 陽平（西島病院 脳神経外科）

12. 神経手術後の癒着を防止する新しいポリ乳酸フィルム

奥井 伸幸（名古屋大学 手の外科）

13. 新規癒着防止材（CMC-PE ゲル）による神経周膜再生促進効果

山本美知郎（名古屋大学 手の外科）

◆一般演題4 血管炎・免疫介在性ニューロパチー 13:20～14:08 第1会場

座長：堅山 真規（東北大学神経内科）

14. Microscopic polyangiitis における末梢神経障害と血管炎の三次元的分布

両角 佐織（名古屋大学 神経内科）

15. 当科における Churg-Strauss 症候群 12 例の臨床病理学的検討

渡部 龍（東北大学病院 血液免疫科）

16. 血管炎性ニューロパチー診断における神経・筋・皮膚同時生検の有用性

栢田 大生（千葉大学医学部附属病院 神経内科）

17. Crow-Fukase 症候群における臨床的特徴およびミエリン形態異常と脱髄の関係

橋本 里奈（名古屋大学 神経内科）

18. IVIG 大量静注療法が有効であった糖尿病を有する腕神経叢障害例

喜多也寸志（兵庫県立姫路循環器病センター 神経内科）

19. 感覚障害や神経痛を伴わない一側上肢に局限した神経原性筋萎縮：Immune-modulation therapy の有効性に関する検討

福島 和広（信州大学医学部脳神経内科、リウマチ・膠原病内科）

◆一般演題5 免疫介在性ニューロパチー 14:08～14:56 第1会場

座長：楠 進（近畿大学医学部神経内科）

20. 全身の皮膚発疹およびリンパ節腫脹・発熱をともない自然軽快した感覚失調優位 polyradiculoneuropathy の1例

長山 成美（金沢医科大学 神経内科学）

21. AMSAN とビタミン B1 欠乏性急性軸索型ニューロパチーの鑑別が問題となった2症例

結城奈津子（NHO 舞鶴医療センター 神経内科）

22. シェーグレン症候群に伴うニューロパチー：Ataxic form と Painful form の病理学的特徴
川頭 祐一（名古屋大学神経内科）
23. Rituximab による治療を行った抗 MAG 抗体関連ニューロパチーの 61 歳女性例
松野 博優（東京慈恵会医科大学 神経内科）
24. 当院における抗ガングリオシド抗体測定の変向
宮本 勝一（近畿大学・医学部・神経内科）
25. 末梢神経障害を呈した悪性腫瘍患者における抗ガングリオシド抗体の検討
汐崎 祐（防衛医科大学校内科 3（神経内科））

◆一般演題 6 GBS と CIDP

9:30～10:02 第2会場

座長：野村 恭一（埼玉医科大学総合医療センター神経内科）

26. 妊娠中に新型インフルエンザワクチン接種 10 日後に Guillain-Barre 症候群を発症した 41 歳女性例
成川 真也（埼玉医科大学総合医療センター 神経内科）
27. インフルエンザワクチン接種後に発症した CIDP の 1 例
清水 洋孝（兵庫県立姫路循環器病センター 神経内科）
28. 味覚障害で発症し、免疫吸着療法が著効した EB ウイルス感染後ギラン・バレー症候群の 1 例
王子 聡（埼玉医科大学総合医療センター 神経内科）
29. 味覚障害を認めた慢性炎症性脱髄性多発根神経炎の 1 例
菅野 直人（東北大学神経内科）

◆一般演題 7 CIDP

10:02～10:34 第2会場

座長：吉良 潤一（九州大学神経内科）

30. 経過中にネフローゼ症候群を伴った亜急性再発性多発根神経炎の 1 例
中島 一郎（東北大学神経内科）
31. 慢性炎症性脱髄性多発根神経炎と筋萎縮性側索硬化症を合併した 1 剖検例
西畠 春生（青森県立中央病院 神経内科）
32. CIDP 様ニューロパチーを合併した ALS の 1 剖検例
豊岡 圭子（独立行政法人国立病院機構 刀根山病院 神経内科）
33. 一時的に totally locked-in state を呈した IgA- λ 型 M 蛋白血症に関連する慢性炎症性脱髄性多発根神経炎（CIDP）の 1 例
林 信太郎（群馬大学大学院医学系研究科脳神経内科）

◆一般演題8 CIDP 病態と治療

10:34～11:22 第2会場

座長：池田 修一（信州大学医学部脳神経内科、リウマチ・膠原病内科）

34. 免疫グロブリン大量静注療法とシクロスポリンの併用が奏効した慢性炎症性脱髄性多発神経炎の1例
松島 理明（北海道大学 ※現 帯広厚生病院神経内科）
35. IVIg 後にシクロスポリン単独で寛解状態にある慢性炎症性脱髄性多発根神経炎の4例
町田香津子（信州大学医学部脳神経内科、リウマチ・膠原病内科）
36. CIDP における神経肥厚：臨床病型による差異
三澤 園子（千葉大学大学院 医学研究院 神経内科）
37. 慢性炎症性脱髄性多発根神経炎および多巣性運動ニューロパチーのグロブリン大量静注療法におけるクリニカルパスの有用性
家田 俊明（市立四日市病院神経内科）
38. CIDP の生検末梢神経における遺伝子発現解析
飯島 正博（名古屋大学大学院神経内科）
39. 慢性炎症性脱髄性多発神経炎における MMP-9 陽性 CD28 陰性 Th1 細胞の異常増殖
荒浪 利昌（国立精神・神経医療研究センター・神経研究所・免疫研究部）

◆一般演題9 肘部管症候群

13:20～14:00 第2会場

座長：堀内 行雄（川崎市立川崎病院整形外科）

40. 肘部管症候群に対する新しい症状誘発テスト（内旋屈曲テスト）の試み
越智 健介（川崎市立川崎病院 整形外科）
41. 肘部管症候群における術前後のピンチ力の検討
山口 太平（駿河台日本大学病院）
42. 肘部管症候群に対する単純除圧術の術後成績
岡田 正人（金沢医科大学・整形外科）
43. 尺骨神経筋層下方移行術後15年を経て再手術を行った肘部管症候群の1例
斎藤 治和（国立病院機構村山医療センター 整形外科）
44. 小児肘関節脱臼骨折の手術待機期間中に尺骨神経障害を呈した1例
原 由紀則（国保旭中央病院 整形外科）

◆一般演題 10 電気生理・治療法

14:00～14:48 第2会場

座長：大西 晃生（鞍手共立病院神経内科）

45. Microneurography を用いた A δ 線維活動電位の記録

長谷川 修（横浜市立大学附属市民総合医療センター 総合診療科）

46. 慢性炎症性脱髄性多発根神経炎（CIDP）の神経伝導検査における回復指標の検討

能登 祐一（千葉大学大学院医学研究院 神経内科学
京都府立医科大学大学院医学研究科 神経内科学）

47. 末梢神経両断端緩徐伸長法による陳旧性末梢神経欠損の修復

中島 佳子（筑波大学大学院人間総合科学研究科 臨床医学系整形外科）

48. 末梢神経損傷後の感覚神経機能回復におけるストレスの影響

尼子 雅敏（防衛医科大学校整形外科学講座）

49. 丸文字訓練で書字が短時間可能になった書痙患者の1例

有野 浩司（防衛医科大学校 整形外科）

50. 慢性脱髄性多発性神経根炎による両手指筋力低下に対し、母指外転・内転再建術を施行した1例

小浜 博太（琉球大学 整形外科）

2010年9月4日(土)

◆一般演題 11 再生

15:00～15:56 第1会場

座長：額田 均 (財額田医学生物学研究所、オタゴ大学内科)

51. 末梢神経再生における BDNF の役割

竹村 宜記 (滋賀医科大学整形外科学講座)

52. 末梢神経損傷後の後根神経節における microRNA-125b および TNF- α の発現

中崎 蔵人 (広島大学 整形外科)

53. 個体レベルにおける p38 MAPK の神経再生への関与 第2報

加藤 直樹 (埼玉医大総合医療センター 整形外科)

54. ラット末梢神経虚血・再灌流傷害モデルにおける感覚障害：治療法の確立に向けて

土原 豊一 (防衛医科大学校 整形外科、オタゴ大学内科)

55. 成熟ラット由来不死化シュワン細胞株 IFRS1 と DRG ニューロンとの共培養系の確立

三五 一憲 (東京都神経科学総合研究所・発生形態研究部門)

56. Methylcobalamin は Akt/mTOR シグナル伝達を介して神経軸索伸展を促進する

岡田 潔 (大阪大学大学院医学系研究科器官制御外科学 整形外科学)

57. 体外増幅 CD133 陽性細胞による末梢神経再生

大坪 晋 (広島大学 整形外科)

◆一般演題 12 病態モデルの解析

15:56～16:44 第1会場

座長：安田 斎 (滋賀医科大学医学部看護学科地域生活看護学講座)

58. AGE による血液神経関門破綻メカニズムの解析

清水 文崇 (山口大学附属病院神経内科)

59. 糖尿病性神経障害における接着性因子と Rho/Rho kinase 系シグナルとの関連

金澤 康 (東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科)

60. 糖尿病マウスを用いた PIGF-2 による感覚ニューロパチーの治療研究：尾神経伝導検査と足底表皮内自由神経終末測定による評価について

村上 龍文 (川崎医科大学 神経内科)

61. 脂肪組織由来間葉系幹細胞自家移植による糖尿病ラット進行期神経障害への治療効果

水上 浩哉 (弘前大学 大学院医学研究科 分子病態病理学講座)

62. 糖尿病ラット末梢神経の虚血・再灌流傷害に対する形態学的脆弱性とマクロファージ活性化
額田 均 (オタゴ大学内科、(財)額田医学生物学研究所)
63. Group VIA phospholipase A₂ 遺伝子欠損マウスにおける変性ミトコンドリアと軸索変性
隅 寿恵 (大阪大学神経内科)

◆一般演題 13 筋・アミロイド・悪性腫瘍 15:00～15:56 第2会場

座長: 松井 真 (金沢医科大学神経内科学)

64. 神経根障害で支配筋に STIR 高信号を認めた 2 症例の臨床病理学的特徴に関する検討
小出 百合 (東京大学医学部附属病院)
65. Crohn 病の長期経過後にアミロイドミオパチーを呈した一部検例
加藤 量広 (東北大学神経内科)
66. 家族歴を認めない FAP ATTR Val30Met の臨床病理の検討
小池 春樹 (名古屋大学神経内科)
67. FAP 患者からの生体ドミノ肝移植症例の剖検病理所見
小池 春樹 (名古屋大学神経内科)
68. 悪性リンパ腫に関連したニューロパチーの臨床病理学的特徴
富田 稔 (名古屋大学医学部神経内科)
69. 坐骨神経痛にて発症し、進行性の神経根性神経障害を来した末梢性 T 細胞性リンパ腫の 1 例
濱田 征宏 (近畿大学医学部附属病院 神経内科)
70. 右腕神経叢症で発症した neurolymphomatosis の一例
辻 有希子 (京都府立医科大学附属病院 神経内科)

◆一般演題 14 遺伝性疾患 15:56～16:52 第2会場

座長: 高嶋 博 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科神経病学講座神経内科・老年病学)

71. Roussy-Levy syndrome 様の臨床像を呈し、腰椎神経根の肥厚を認めた Charcot-Marie-Tooth disease type 1B の一例
後藤 啓五 (愛知医科大学神経内科)
72. 免疫グロブリン大量静注療法で効果がみられた CMT の 1 例
上野 達哉 (青森県立中央病院 神経内科)
73. 新規の senataxin 遺伝子変異 (R2136C) による ALS4 の 1 例
雑賀 徹 (九州大学神経内科)

74. シャルコー・マリー・トゥース病患者診療の現況 - 全国一次アンケート調査結果の報告
滋賀 健介（京都府立医科大学 神経内科）
75. Charcot-Marie-Tooth 病 150 例のマイクロアレイ DNA チップによる遺伝子診断
橋口 昭大（鹿児島大学医学部 神経内科老年病学）
76. シャルコー・マリー・トゥース病患者における装具の効果についての歩行分析
大竹 弘哲（公立七日市病院リハビリテーション科）
77. シャルコー・マリー・トゥース病（CMT）診療マニュアルの作成
中川 正法（京都府立医科大学 大学院 神経内科学）

